

「ゴミをゼロにできたらいいな」

さいたま市 四年 大河原早紀（おおかわらさき）

私は、今年になって学校で3Rについて勉強したし、地球温だん化という言葉もよく聞くので、エコのことにきょう味をもちました。そこで8月21日に、リサイクル・プラザJBの見学に行きました。

リサイクルプラザでは、お姉さんがいろいろな説明をしてくれました。ペットボトルの本体とキャップ、ラベルは、同じプラスチックだけど種類がちがうから、細かくして、水に入れてふって、分けるのだと教えてもらいました。ラベルやキャップは水にういて、本体はしずみます。かんたんな方法だけど、私には考えつきません。この方法を考えた人はすごいなと思いました。

スチールカンの上ぶたはアルミで出来ているということも教えてもらいました。今まではスチールカンは全部鉄で出来ていると思っていました。アルミカンは全部アルミで出来ているからスチールカンよりもアルミカンの方が作るのが楽かと思っていました。アルミカンの原料、ボーキサイトはきちょう品だそうです。カンを作るのもいろいろ大変なんだと分かりました。一番びっくりしたのは、スチールカンを原料の鉄こう石から作る時のエネルギーが100とすると、スチールカンをリサイクルして作った時は、エネルギーが25ですむということ、そしてアルミカンをボーキサイトから作る時のエネルギーを100とすると、アルミカンをリサイクルして作った時は、3だけですむということです。リサイクルはごみを出さないで再利用するだけだと思っていただけけれど、エネルギーの節約にもなるなんておどろきました。

私は学校の勉強をして、エコやリサイクルのことを知っている方だと思っていましたが、まだまだ知らないことがあるなと思いました。そして見学したことで、リサイクルについてもっと知りたくなりました。

私は全ての物がリサイクルできたらいいと思います。そうすればゴミゼロにできるかもしれません。地球のかんきょうももっとよくなっていくと思います。でも、

「ここの見学に来る人たちはリサイクルもきちんと考えている人たちだよ。本当にリサイクルが大事だと教えないといけないのは、ここに来ない人たちなんだよ。そういう人たちはごみの分別とかもしないから、そういう人たちの気持ちを変えて、みんなでリサイクルをしていかないといけないね。」

とお母さんが言っていました。私達のできることを考えて、それをやっていこうと思いました。

2